取扱説明書

水　蓮

CW－370

(標準仕様書)

π WATER SYSTEM PRODUCED BY ACM

111129

このたびは、

当社の水蓮ＣＷ-３７０をお買い求めいただきましてありがとうございます。

いつまでも安全に、快適にご使用いただくために、この取扱説明書を最後までお読みください。

取扱説明書

目　　次

1 各部の名称　・・・・・・・・・・・　２

2 ご使用上の注意・・・・・・・・・・　３

3 装置の設置方法・・・・・・・・・・　４

4 バルブの操作方法　・・・・・・・・　５

　１．洗浄のバルブ操作

　２．逆洗浄のバルブ操作

　３．バイパスのバルブ操作

5 カートリッジの交換方法　・・・・　８

　１．交換について

　２．交換カートリッジ

　３．バルブ操作

　４．上蓋の取り外し

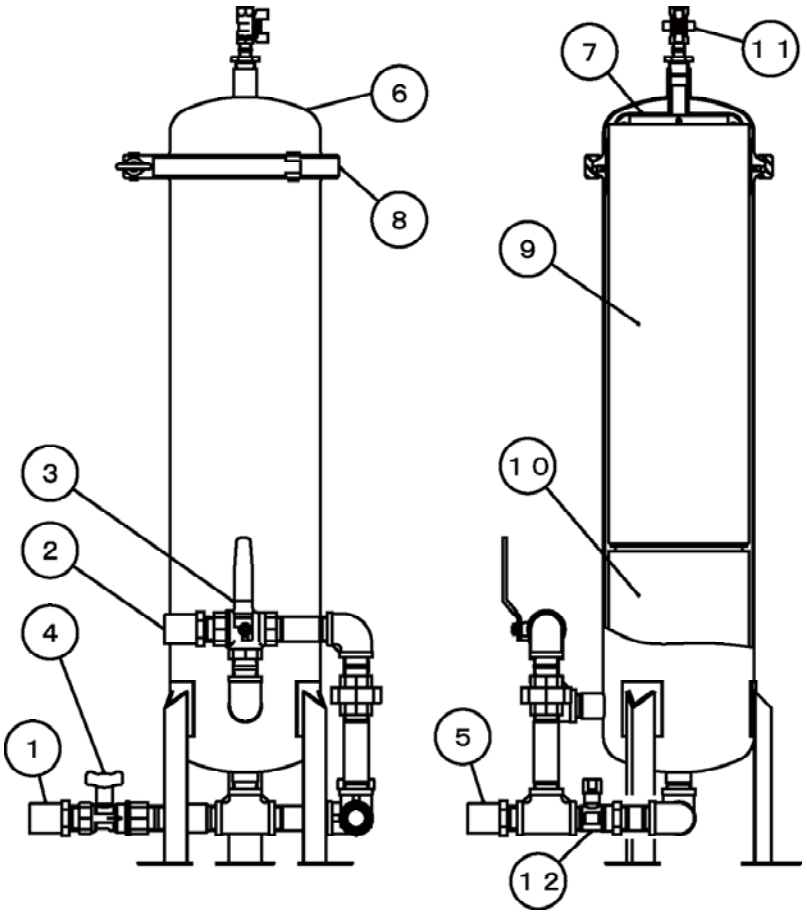
　５．カートリッジの交換

　６．上蓋のセット

　７．洗浄運転の操作

　８．通常運転の操作

1 各部名称



番号	名称	仕様等
①	入水口	２０Ａ
②	ろ過水出口	２０Ａ
③	出水三方バルブ	振り分け用バルブ
④	入水バルブ	止水バルブ
⑤	排水口	２０Ａ
⑥	上蓋	
⑦	内蓋	
⑧	クランプ	
⑨	カートリッジ 大	
⑩	カートリッジ 小	
⑪	エア抜きバルブ	８Ａ
⑫	排水バルブ	２０Ａ

2 ご使用上の注意

（１）ご使用は、飲料適合水だけにしてください。

（２）使用水圧０．５MPa（５Kg/ｃｍ^2）以内でご使用ください。
０．５MPa以上の水圧があるところは減圧弁をご使用ください。

（３）凍り付く恐れのある場合は、配管等に凍結防止の処置をしてください。

（４）井戸水、赤水等で汚れた水道水では、カートリッジの浄化能力が極端に短くなります。

（５）受水層・高架水槽・配管等の清掃、水道工事の際には、大量の赤さび、ゴミ等が発生することがあります。このようなときは、バイパス通水により水道水をしばらく放水し、濁りが消えてからご使用ください。
（本体設置工事のときに、バイパス配管します）

（６）金魚や熱帯魚などには使用しないでください。
・水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
・カートリッジの効果が低下してくるとカルキ（残留塩素）の除去が不十分な場合、魚が死ぬ恐れがあるため。

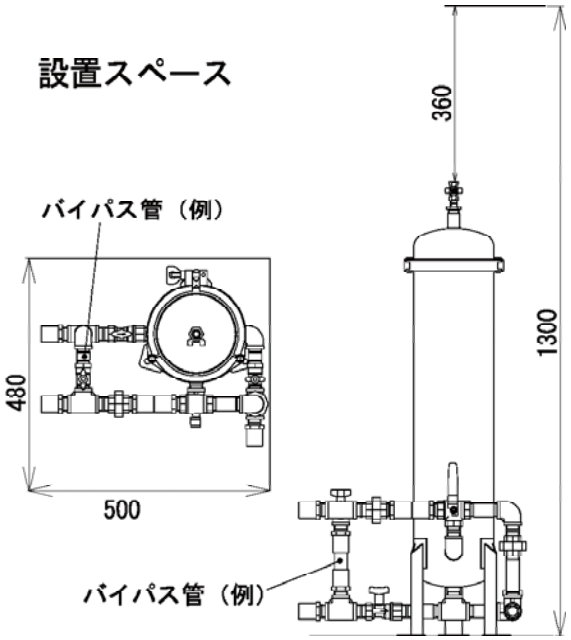
（７）長期間ご使用されなかったときは、逆洗浄をおこなってください。
・逆洗浄は水道水を本体出水側から入水させるため、通常運転に切り替えた際、初水に少量のカルキ（残留塩素）が含まれることがありますが異常ではありません。

3 装置の設置方法

取付にあたり

本体のバルブ操作及びカートリッジ交換時に必要なスペースを確保するため下記のスペースを取り設置してください。

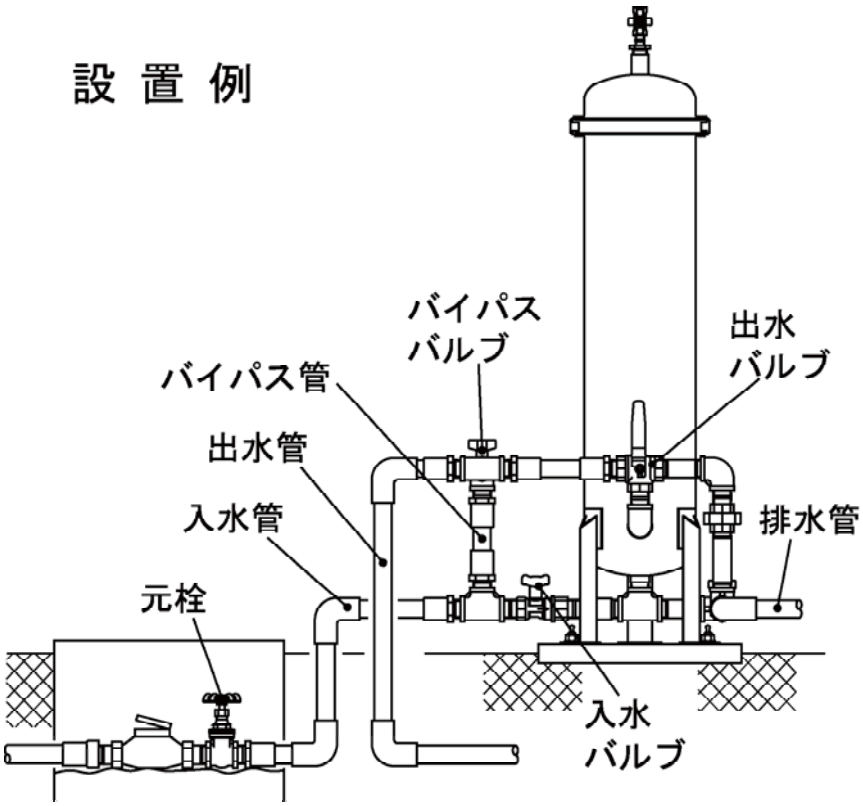
幅　　：　５００㎜以上
奥行き：　４８０㎜以上
高さ　：１３００㎜以上
(カートリッジを交換する時、本体寸法プラス３６０㎜のスペースが必要)



注）この取扱説明書のバイパス配管方法以外でバイパス配管される場合、設置スペースが大きくなることがあります。

1．装置を安定させるための土台を敷きます。
2．水道の元栓を閉めます。
3．水道管の接続部分を掘り起こします。
4．装置の入水口が元栓側、出水口が出水側に向くように土台に乗せ、掘り起こした水道管と接続しやすいように位置を決めます。
5．装置をアンカーボルトで固定します。
6．装置側の配管（入水口とろ過水出口）と接続しやすい位置で、水道管の２ヶ所を切断します。
7．切断した水道管のうち、元栓側の配管は入水口と接続し、家側の配管はろ過水出口に接続します。
この時、入水口とろ過水出口を結ぶバイパスを接続し、バイパス管にバルブを設置してください。
8．排水口は設置場所の周辺の排水溝へ向けて配管します。
（排水は設置時や逆洗浄及び、ろ材の交換後の洗浄時の排水なので周辺に排水できない場合、一時的にホースを取付けて側溝等に排水してください。）
9．接続後は、洗浄を行います。（ 4 １．洗浄　参照）
10．通水後に漏水の無いことを確認してから、水道管を埋め戻します。
11．凍結を防ぐため、地上に出ている配管に保温材を巻きます。

設 置 例



4　バルブの操作方法

1．洗浄のバルブ操作

新設やカートリッジ交換時に装置内のエアがろ過水に混ざり濁ることがあります。また、水道工事による赤水を排水させるために初期洗浄を行います。

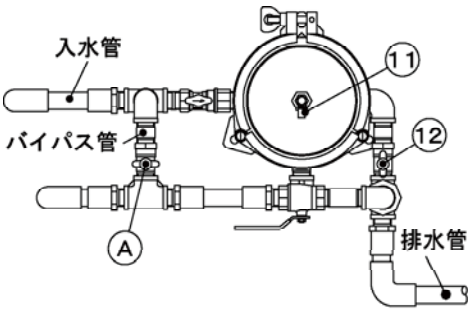
①バルブ操作

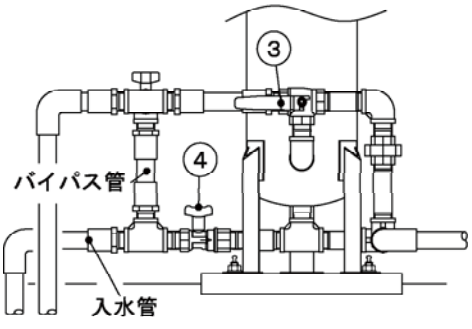
元栓を開ける前に、下記のバルブ操作の確認をしてください。

（バルブの開閉及び方向は、バルブのレバー又はレバーの回転軸に明記しています。）

a)**エア抜バルブ⑪**を閉めます。
b)**入水バルブ④**を開けます。
c)**出水三方バルブ③**のレバーを横にします。
d)**排水バルブ⑫**を開けます。
e)**バイパスバルブA**を閉めます。

注）洗浄作業が完了するまで、出水側の蛇口等（バルブ）は開けないでください。





②通水

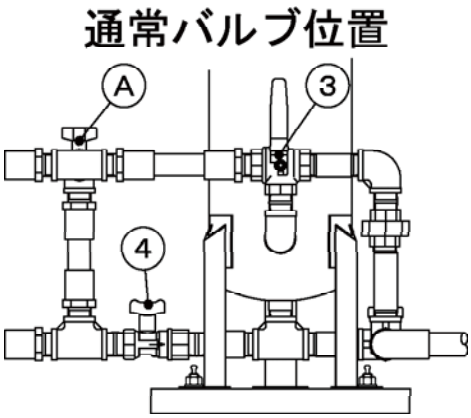
元栓を開けて本体へ給水し、洗浄を行います。

排水口から流れ出る初水が黒く濁る又は白く濁ることがありますが異常ではありません。

初水の濁りがある程度無くなったら（３分程度）**排水バルブ⑫**を止めます。

注）排水を停止させたときに、**エア抜きバルブ⑪**をゆっくり開けてエアを抜き、エア抜きバルブを閉めます。エアが抜けてから１～２分後に再度**エア抜きバルブ⑪**をゆっくりあけてエアを抜きます。（２回エア抜きするのは胴内最上部まで水を溜めるためで、これを行わない場合は、内部のエアが完全に取れません。）その後、**排水バルブ⑫**を開けて洗浄を行います。

排水バルブ⑫を約３分間隔で開閉を繰り返し、濁りが無くなるまで行います。十分洗浄を行った後、**排水バルブ⑫**を閉めて排水を止めます。



再度**エア抜きバルブ⑪**をゆっくり開けてエアが抜けたことを再度確認し閉めます。

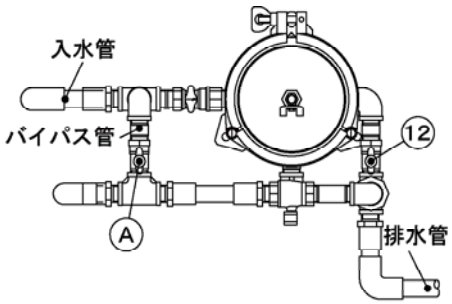
（**排水バルブ⑫**を閉めた状態で水漏れが無いことを確認してください）。

出水三方バルブ③のレバーを縦にします。

洗浄後、出水側の配管に空気が入っているので、家内の蛇口をゆっくり開け、配管内の空気を抜き（１０分程度）完了です。

２．逆洗浄のバルブ操作

水道工事などによる赤水が直接装置に通水した場合、装置内から赤水を排水させるために行います。また、水道管が鉄配管の場合赤水が多く流れることがあるので、３～４ヶ月に一度、逆洗浄を行うことをお薦めします。



逆洗浄バルブ操作

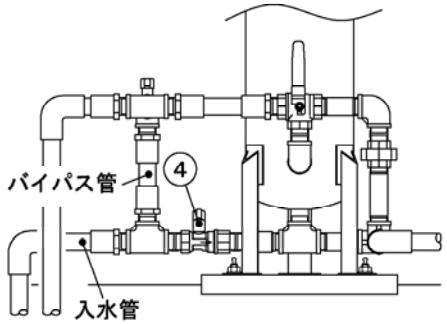
a)**入水バルブ④**を閉めます。

b)**バイパスバルブA**を開けます。

c)**排水バルブ⑫**を開けて、ろ材を十分に洗浄します。

逆洗浄の排水を十分に行なった後、洗浄バルブ操作を行います。

（ 4 １．洗浄　参照）



3．バイパスのバルブ操作

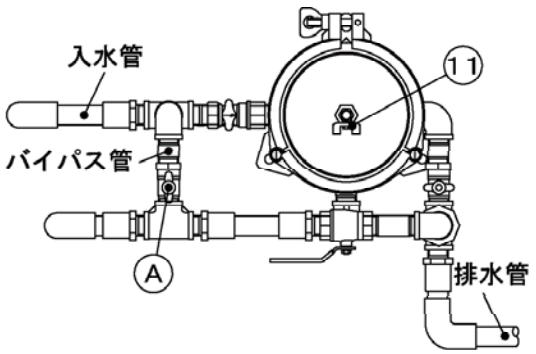
●トラブルのあった時、長期間使用しない時、カートリッジ交換を行う時に操作します。

＊バイパスバルブ操作

水道工事などにより赤水が流れる可能性がある場合、直接装置に通水するとカートリッジ等の目詰まりやろ過能力の低下になるので、この操作を行います。

a)**入水バルブ④**を閉めます。
b)**出水三方バルブ③**のレバーを横にします。
c)**バイパスバルブA**を開けます。

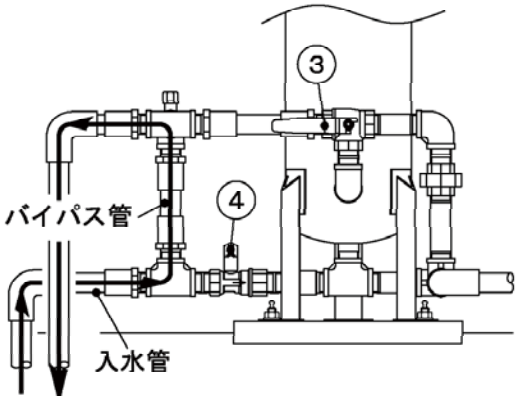
家内等の蛇口を開けて、赤水が出なくなるまで通水します。



再び使用する際は、

a)**バイパスバルブA**を閉めます。
b)**入水バルブ④**を開けます。
c)**出水三方バルブ③**のレバーを縦にします。
d)**エア抜きバルブ⑪**をゆっくり開けて、エアを抜き閉めます。

（ 4 通常バルブ位置　図参照）



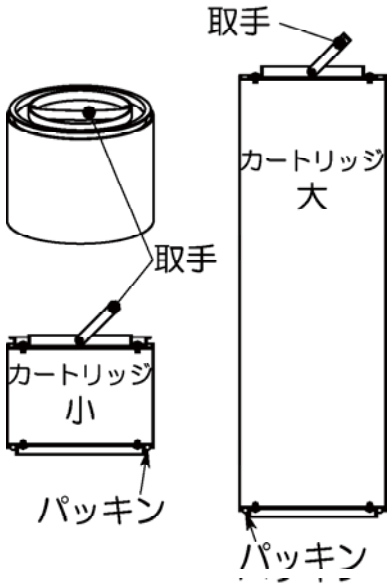
5 カートリッジの交換方法

1．交換について

装置内部のカートリッジは大小の２個に分かれています。
カートリッジ大は毎年交換してください。
カートリッジ小は３年に１回交換してください。

2．交換カートリッジ

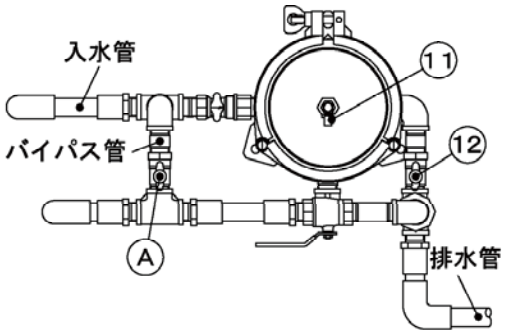
カートリッジの上側に取手が付いています。
カートリッジの下側にゴムパッキンが付いてます。

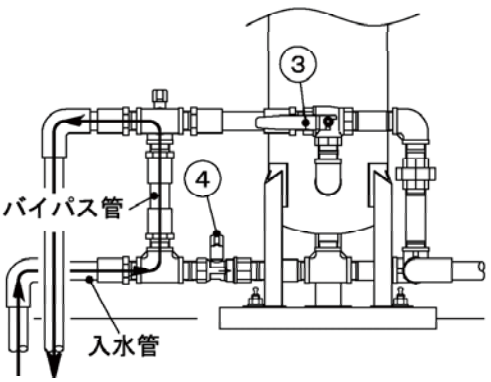


ろ材交換に必要なもの
・モンキースパナ１本
・ウォータープライヤー１本

3．バルブ操作

a) **入水バルブ④** を閉めます。
b) **出水三方バルブ③**のレバーを横にします。
c) **バイパスバルブA**を開けます。
d) **エア抜きバルブ⑪**を開けます。
e) **排水バルブ⑫**を開けて本体内の残留水を排水します。

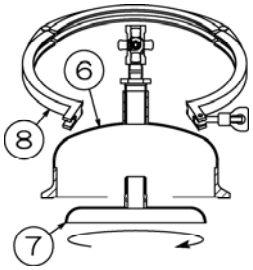




111129

4．上蓋の取り外し

P型クランプ⑧を全部取り外し、**上蓋⑥**を取ってください。
（上蓋⑥から内蓋⑦を回して外し、洗ってください。）



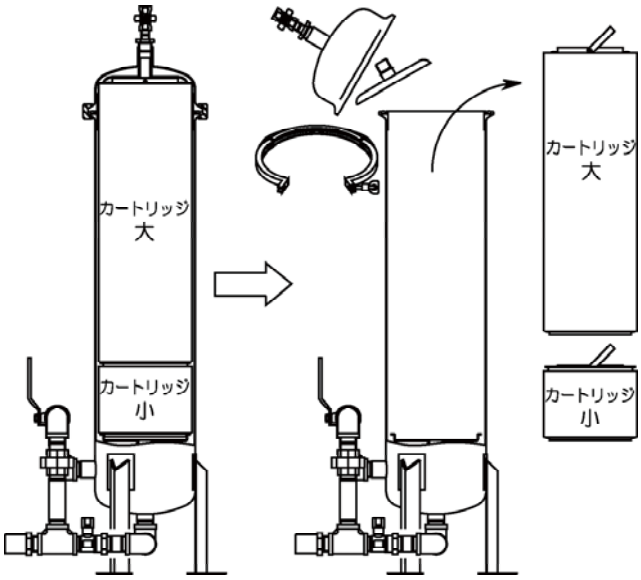
5．カートリッジの交換

a)カートリッジ取り出し

装置内部には２個のカートリッジが入ってます。
各カートリッジ上の取手をつかみ装置から取り出してください。

b)カートリッジのセット

カートリッジ小を下側、カートリッジ大を上側になるように装置の中に入れます。



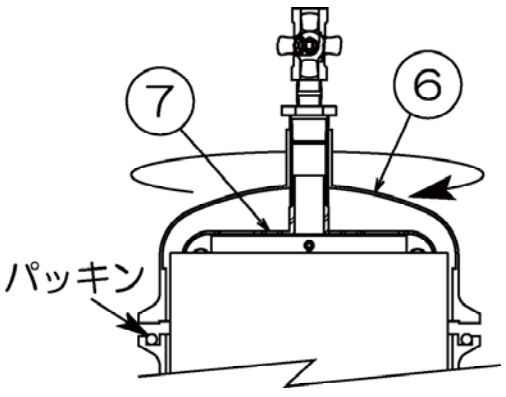
＊カートリッジが傾かないように入れてください。
＊各カートリッジの下側にパッキンが付いてること、またゴミ等が付いていないことを確認してください。

使用済みカートリッジは水を切り、交換用カートリッジの梱包箱に入れ送り状を貼って送り返してください。

6．上蓋のセット

a)古い**パッキン**を外し、布等でパッキンのセット溝のゴミ等を取り除いてから新しい**パッキン**をセットしてください。

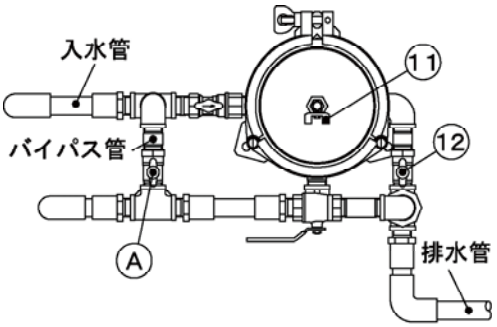
b)４番で外して洗っておいた**内蓋⑦**を左に回して**内蓋⑦**を出した後、カートリッジの上に乗せてから**上蓋⑥**をかぶせ、パッキンに触れるまで右に回してください。（カートリッジを上から押さえるためです。）



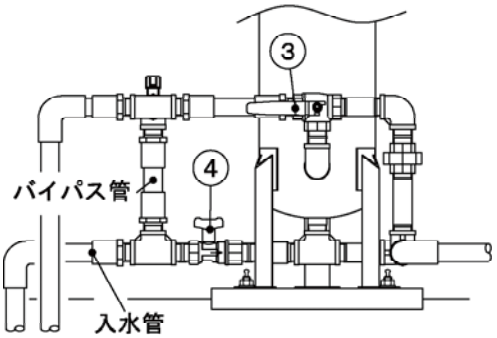
c)P型クランプ⑧をセットしてください。

7．洗浄運転の操作

a)**エア抜きバルブ⑪**を閉めます。
b)**入水三方バルブ③**のレバーを横にします。
c)**排水バルブ⑫**を開けます。
d)**入水バルブ④**を開けて1分間程度排水します。
e)**排水バルブ⑫**を閉めます。
f)**エア抜きバルブ⑪**をゆっくり開けてエアを抜きます。そして閉めます。



注）これは装置の最上部まで水を溜めるためで、これを行わない場合は、内部の汚れが完全に取れません。



g)**排水バルブ⑫**を約３分間隔で開閉を繰り返し、濁りが無くなるまで行います。十分洗浄を行った後、**排水バルブ⑫**を閉めて排水を止めます。

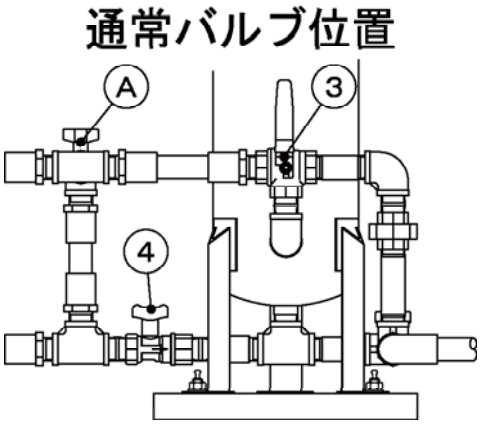
注）**排水バルブ⑫**を閉めた状態で水漏れの無いことを確認してください。

8．通常運転の操作

a)**出水三方バルブ③**のレバーを縦にします。

b)**バイパスバルブA**を閉めます。

この時配管に空気が入っている場合があるので、家内の蛇口を開け、配管内の空気を抜き（１０分程度）完了です。



＜水の検査方法＞

残留塩素測定試薬

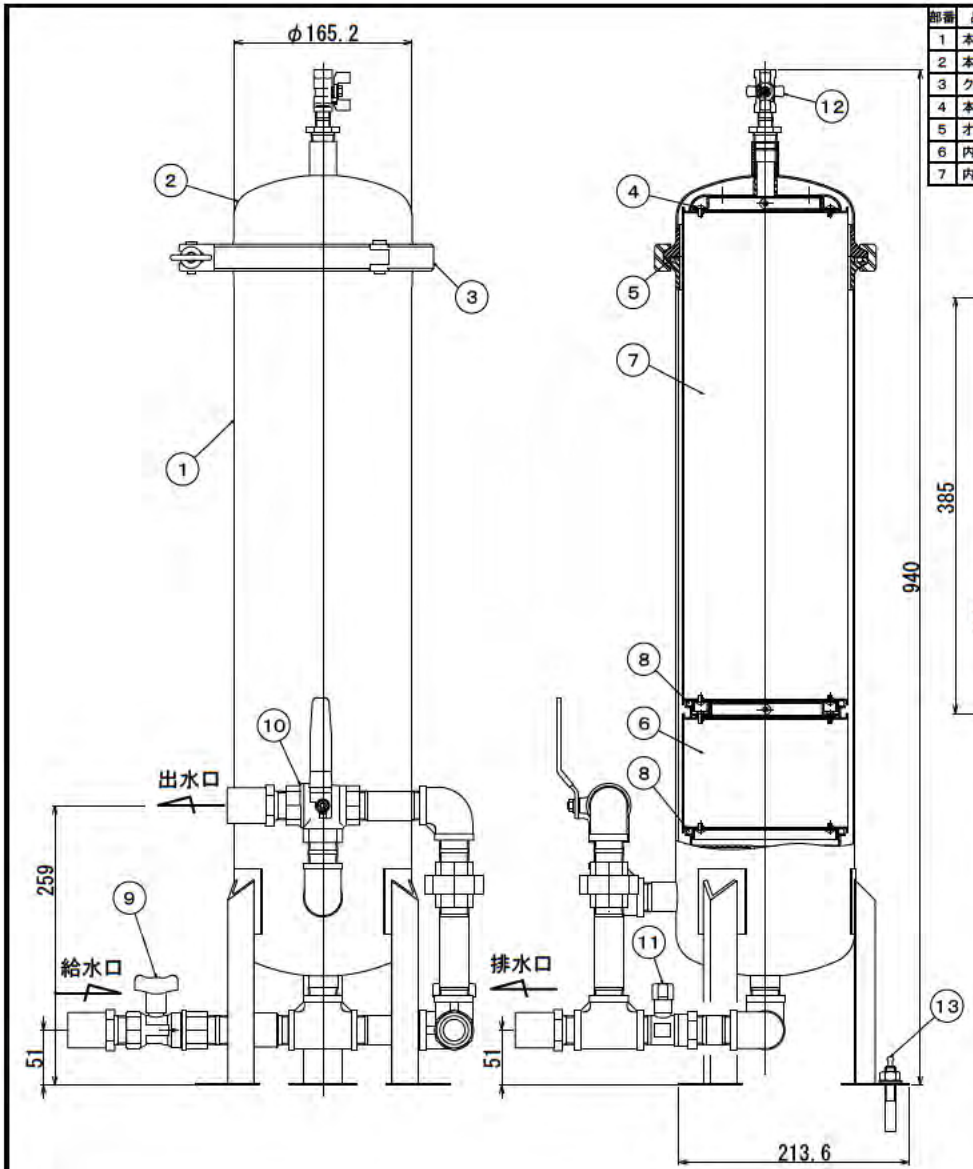
これは浄水された水が正常であるか確認する検査です。
1．コップに浄水後の水（約50cc）を取ります。
2．残留塩素測定試薬を１袋加えます。
3．かき混ぜて、無色透明であることを確認してください。
（判定は１分以内で行ってください。）

残留塩素試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を判定する試薬です。
塩素が残留していると試薬はピンク色に変色します。
但し、３分以上おくと残留塩素がない状態でも変色しますのでご注意ください。

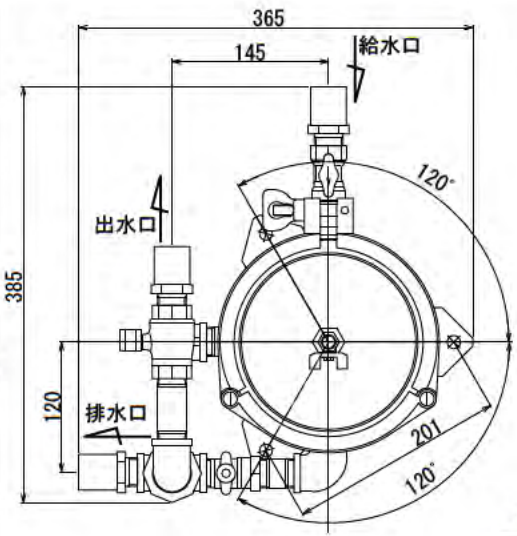
＊ ご注意
- ご使用後のコップ等は、よく洗ってからご使用ください。
- 残留塩素測定試薬及び残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないようにご注意ください。
- 手などに触れた場合、石けんでよく洗ってください。
- 万が一、目や口には入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談してください。
- 幼児の手の届かない場所に保管してください。

仕　様

型　　式	ＣＷ－３７０
使用流量	２０　Ｌ／分（動水圧 0.1MPa時）
浄化能力 ＊水質の違いにより、浄化能力が異なる場合がございます。	３７０，０００Ｌ
本体材質	ステンレス
本体寸法（外径φ×高さ）	φ１６５．２×９４０ ㎜
本体重量	約　２１　キログラム（未通水時）
カートリッジ交換時期	１日約１０００Ｌ使用時 カートリッジ大　使用限界１年間 カートリッジ小　使用限界３年間



部番	品　　名	数量	材　料	記　事	部番	品　　名	数量	材　料	記　事
1	本体胴体	1	SUS-304		8	オーリング	2	NBR	P-130 （70°）
2	本体蓋カガミ	1	SUS-304		9	給水バルブ	1	C3771BE	20A逆止弁付
3	クランプ	1	SUS-304	150A	10	出水バルブ	1	C3771BE	20A
4	本体内蓋	1	SUS-304		11	排水バルブ	1	C3771BE	20A
5	オーリング	1	NBR	G-170 （70°）	12	エア抜き	1	SUS-304	8A
6	内ケース小	1	SUS-304		13	ｵｰﾙﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	3	SUS-304	M10×60
7	内ケース大	1	SUS-304						



仕　様

本体重量	21kg　〔満水時：32kg〕 ｶｰﾄﾘｯｼﾞ大:6.4kg／ｶｰﾄﾘｯｼﾞ小:2.5kg
流　量	動水圧0．1MPa：20L/min （適用最大流量：20L/min以下）
耐　圧	0．5MPa
呼び径	20A
適用流体	飲料適合水

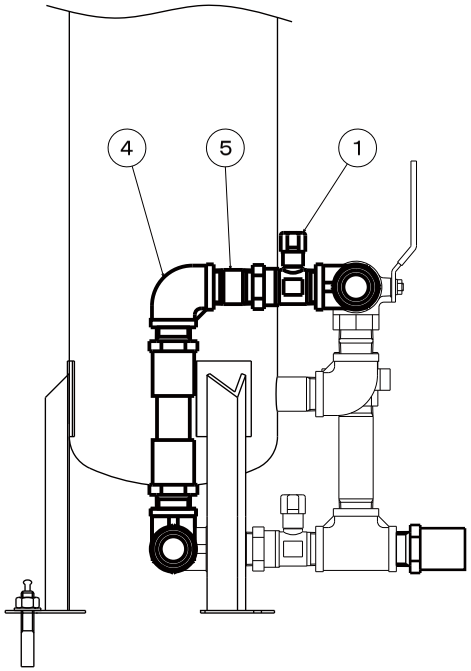
符号	年月日	改訂理由	担当

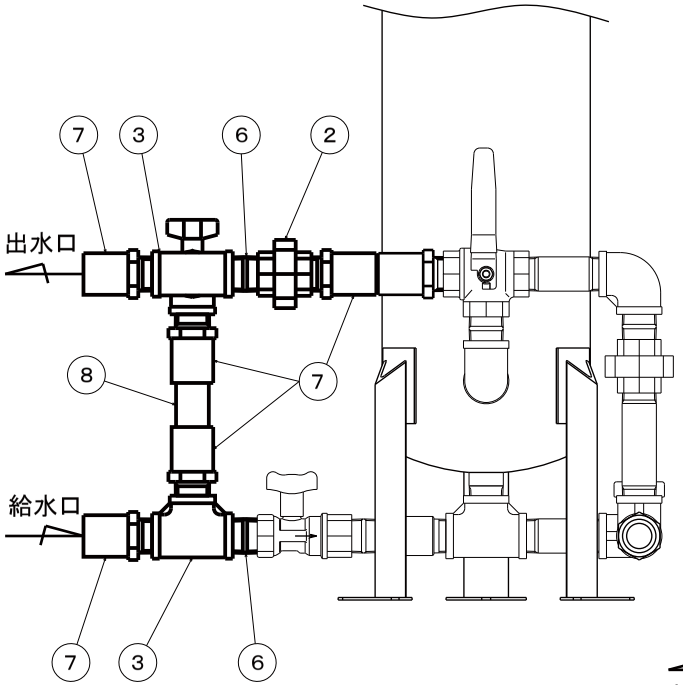
型式 PATTEN-TYPE	CW−370	単位 UNITS	mm
尺度 SCALE	1:7		
名称 TITLE	CW−370 組立図	製図 DRAWN	2011. 8.24
株式会社 エイ・シー・エム		図面番号 DRAWING NO.	WPC−00
			B5

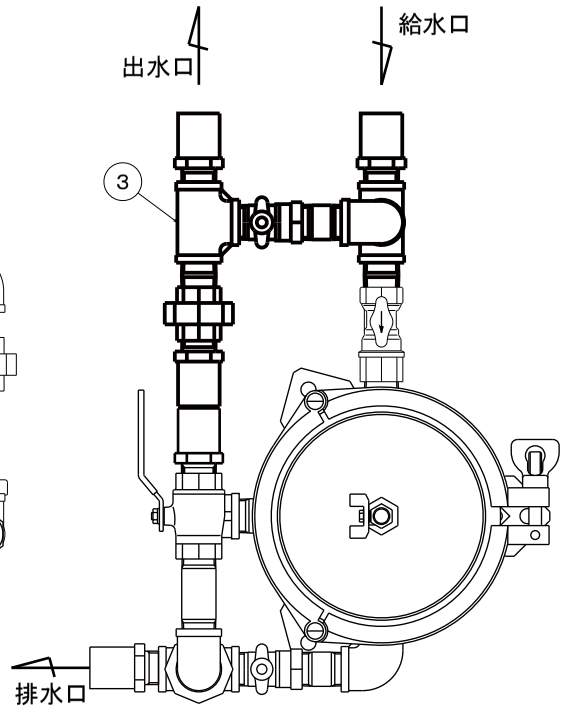
ＣＷ－３７０バイパス配管
（組み付け例）

部番	品　　名	数量	記　　事	部番	品　　名	数量	記　　事
①	バイパスバルブ	1	２０Ａ　KITZ　S6-3/4	⑤	５０Ｌニップル	1	２０Ａ　（ＳＵＳ-304）
②	ユニオン	1	２０Ａ　（ＳＵＳ-304）	⑥	ニップル	2	２０Ａ　（ＳＵＳ-304）
③	チーズ	2	２０Ａ　（ＳＵＳ-304）	⑦	バルブソケット	6	２０Ａ
④	エルボ	1	２０Ａ　（ＳＵＳ-304）	⑧	パイプ	一式	２０Ａ

＊その他、接続工事に必要とする部品一式。







110624

保証書

水蓮をお買上げいただきありがとうございます。
いつまでもご愛用いただけますよう下記保証規定内容で保証し、無料修理させていただきますので、故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

器種名※	製造番号
CW－370	※

※ 保証期間	平成　年　月　日から 平成　年　月　日の１年間とします。 （本　体）
※ お客様	ご芳名　様 ご住所 □□□-□□□□ 電話　（　）

※販売店	印

※印欄に記入のない場合、１年以内であっても無償サービスの受けられないことがありますので必ずご確認ください。

株式会社　エイ・シー・エム
〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10
TEL 03-3634-7373（代表）

保　証　規　定

本書は下記保証規定内容で、無料修理させていただくことを、お約束致します。

1. 保証期間は、お買上げの日をもって保証期間の開始日とし１ヶ年と致します。
(1) 保証範囲は本体のみとし、カートリッジは含みません。
(2) カートリッジは極めて平均的な条件下で設計されています。短期間（2日以内）におけるフィルターのつまり、あるいは濾材漏れの場合は無償交換致しますので販売店迄ご連絡下さい。
2. 取扱い説明書、本体貼付ラベル等の注意書により正常に使用された場合に限り、保証期間に故障した場合には、無償サービス致します。
3. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
(1) ご使用上の誤り、あるいは取扱い上の不注意、不当な修理改造による故障および損傷。
(2) お買上げ後の取り付け場所の移動、落下および輸送等による故障および損傷。
(3) 火災、地震、塩害、落雷、ガス害、その他不可抗力による故障および損傷。
(4) 故障および損傷原因が異常水圧等外部要因による故障および損傷。
(5) 外観等の自然悪化。
(6) 本保証書のご提示がない場合。
(7) 本保証書の記入事項未記入および販売店捺印のない場合。
(8) カートリッジのトラブルによる本体の交換。
(9) 日本国外で使用される場合。
4. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
（Effective only in Japan）

※なお、本保証書は、本書に明記した保証期間および各条件のもとにおいて無料修理をお約束するものであり、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください。

■製造元　株式会社 **エイ・シー・エム**
〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10
TEL. 03-3634-7373　FAX. 03-3634-7384